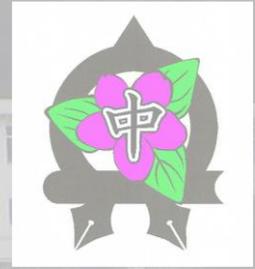


協働



教育は感化である

副校長 石井 淳

「我々大人も大いに自らを語り、寄り添う姿勢とふれあいをもって、お子様達を育てていこうではありませんか。」これは、学校だより『協働』第4号（7月18日発行）で本校校長が書いた文章の一節です。これを読んで私の頭に浮かんだのが、表題の言葉です。以前お世話になった、ある校長先生が仰った言葉で、副校長となった今でも常に意識している、私の教育観です。

まだ30代前半の頃、少々落ち着かない校内事情の学校に勤務していた時の話です。私も今よりいぶん血の気が多く（髪の毛も多く）、少々ヤンチャな生徒たちと日々奮闘していました。なかなか言うことを聞かない生徒たちに対して声を荒らげることも度々ありました。どうしたら言うことを聞かされるかと悩んでいたときに、ベテランの女性の先輩教員が声を掛けてくださいました。「こうしなきゃ、させなきゃと思うとお互い苦しくなる。その生徒に今何が必要なのかと考えると楽になる。」という内容でした。その先輩は、自分のクラスの手の掛かる生徒たちを常に毅然と指導しながらも、職員室では「こんなことがあったの」といつも笑いながら話題にされていました。あんなに大変そうなのになんで笑顔で話せるのだろうという、以前から抱いていた疑問の答えを得た瞬間でした。さらに先輩は、心のもち方の秘訣として「自分の心の枠を広げる」ことを教えてくださいました。心の枠が狭いうちは枠の外にある人の行動が許せないが、枠を広げるとどんな人も枠の内側におさまり、自分の価値観を曲げることなく自然と受け入れられるようになるという考えでした。そのときの感想を一言でいうなら「衝撃」です。自分の教員としての度量の小ささと視野の狭さを指摘された思いでした。それらの言葉を頭の中で何度も反芻しながら、少しずつ理解し、納得しかけたときに、それまでの私たちのやりとりを見ていた校長先生がおっしゃったのが、「教育は感化である」という一言でした。

今考えると、私の指導方法に助言をしてくださったというよりも、私の心の中を表現されたのかもしれない。実際、その頃の私はその先輩の言動に感銘を受けることが多く、こんなすごい教師に自分もなりたいたいと思い、多くの場面で先輩を真似していました。まさに私自身が先輩に感化されていたのです。

いずれにせよ、校長先生の言葉は先輩教員のアドバイスと共に強烈に心に刻み込まれ、以来、私の教育哲学となりました。このことは、私の教員人生において、自分の教員としてのスタイルを確立していく大きな出来事でした。

「教育は感化なり」は夏目漱石の言葉としても伝えられています。漱石は、教育が単なる情報の詰め込みではなく、人間性や道徳性の形成に大きく関与すると信じていました。また、生徒に良い影響を与えるためには、教師自身が理想的なモデルとならなければならないとも主張しています。

私自身が模範的な大人かどうかはかなり疑わしいところがありますが、理想的な大人であろうとすることは重要だと感じています。そのことにより、大人も子供も互いに人生が豊かになると信じ、これからも教育に携わっていきたいと思います。

9・10月の奥多摩中学校

9月24日（日）～26日（火） 修学旅行（3年）

「協働やSDGsを意識して、京都や奈良の文化を楽しもう」のスローガンの下、充実した3日間を過ごしました。初日の奈良公園での散策、2日目の京都市内班行動、3日目のタクシー班行動を通して、協働の時間のテーマである持続可能な取組について学びを深めることができました。



法隆寺にて（1日目）



東本願寺にて（2日目）



班会議の様子（宿舎）



班行動中の様子（3日目）

10/7 土 土曜授業



＜地域合同防災訓練
消火訓練の様子



PTA 親子行事＞

生徒 vs 保護者 vs 教員
ビーチボールバレー対決

10/10 火 子ども国際交流音楽祭 交流コンサート



小河内の鹿島踊＞

奥多摩の伝統芸能に触れました

＜木管五重奏

ウィーンの音楽家による演奏



部活動の様子

スポーツ部 バレーボールに取り組んでいます。個々の目標に向けて、また全員で試合ができることを目標に頑張っています。また、ボランティア部と合同で地域の方々とグラウンドゴルフにも取り組んでいます。

カルチャー部 1学期末から取り組み始めた缶バッジ作りもいよいよ大詰めです。奥多摩の「隠れた名所」と「動物のフィールドサイン」に関する缶バッジを作ることに決定し、それぞれがイラストを描きました。缶バッジに添える説明文も一生懸命考えました。完成間近なので楽しみにしてください。

アウトドア部 ルアー・フィッシングに向けて、ロッドや仕掛けの組立て、リールの取扱い、キャストの練習を行っています。

ボランティア部 「クリーン作戦」氷川キャンプ場駐車場と奥多摩駅付近の自動販売機で多くのゴミを拾いました。「高齢者とのグラウンドゴルフ」校庭に草が生えたコンディションでの開催でしたが、楽しくコースを廻ることができました。「災害対応能力向上作戦の準備」火おこしのために木の葉や枝などの材料を集めました。太い枝もあり、帰校後はノコギリで切り燃やしやすいサイズにしました。



スポーツ部・バレーボール



コラボ企画・グラウンドゴルフ



アウトドア部・釣り道具の確認



ボランティア部・クリーン作戦

生徒会役員 決定

9月29日に、生徒会役員選挙の立会演説会を行いました。

どの立候補者も推薦人も立派な演説で、「学校を良くしていきたい」という思いを伝え、生徒たちはそれを真剣に聞いていました。今回の選挙で会長・副会長は信任、庶務は決選投票により決定しました。



会長：柏木 鷹空 くん（2年） 副会長：間野田 怜央 くん（2年）
庶務：大串 文晴 くん（1年） 庶務：川田 みさき さん（1年） ※五十音順

新生徒会長 柏木 鷹空 くん の演説

今回生徒会長に立候補しました、2年柏木鷹空です。僕は去年から、生徒会庶務を経験させていただき、そこでいろいろな経験をする事ができました。はじめは失敗ばかりで、他の生徒会のみんに助けをもらいながら過ごしていました。ですが、弁論大会や生徒朝礼などで人前に立つ機会が多くなり、大勢の前でも自分の意見が言えるようになりました。次は生徒会長として、生徒会庶務の経験を活かして、去年に引き続き笑顔が絶えない学校を作りたいと思います。そのような学校にするために、生徒会長として、他の生徒会役員や学校全体の意見を取り入れていこうと思います。僕が生徒会長になったら次のようなことをやってみたいです。

まずは、みなさんが楽しんで学校に来られるように、生徒朝礼などの時間を使いレクを増やしていきたいです。みんなで団結し協力し合うようなレクに取り組むことで、学校の教訓である『協働』を達成できると思ったからです。また、レクをやることで学校全体が盛り上がり、明るくなり、一人一人が、学校が楽しいと思える理由の一つになると思ったからです。レクをやることで学校全体が盛り上がり明るくなり一人一人が楽しいと思えるようになり、笑顔の絶えない学校を作っていくことができると思います。みなさんが来て楽しいと思えるような学校をつくることを目標にして活動していきます。

また、僕は様々な人とコミュニケーションを取ることが得意なので、その長所を活かして、生徒会長として先輩後輩関係なくコミュニケーションを取り、奥多摩中学校を明るくし、後輩に良さを引き継いでいきたいです。

みなさん、応援よろしくお願いします。

新副会長 間野田 怜央 くん の演説

今回、生徒会副会長に立候補した2年の間野田怜央です。僕が生徒会副会長に立候補した理由は3つあります。

1つ目は、人前で話すという苦手なことを克服するためです。これまで自分は人前で話すことは極力避けてきました。そのため、今もすごく緊張しています。この先コミュニケーションが取れないと、新しい環境でもなかなか友達が作れなかったり、困ったとき誰にも相談できなかったりするかもしれません。今のままだと将来困ってしまうことが多くなるのではないかと思います。そんな自分を変えるために生徒会副会長に立候補しました。自分が苦手な人前で話すということを克服し、明るい未来を送りたいからというのが1つ目の理由です。

2つ目の理由は、努力できるという自分の長所を生かして、これから生徒会長を支えていけると思ったからです。自分はこれまで生きてきた中で、小学校の頃努力をあまりせず、自由にただただ楽しい日々を送っていました。中学校に入り、期末テストや中間テストで満足できない点数を取ってしまったことをきっかけに、勉強をする努力を始めました。最近になってその努力が報われ始め、5教科、9教科共に平均点が上がりました。自分が継続的に努力を続けられると分かったので、このことを生徒会に入り生かしていきたいです。

3つ目は、一人一人が気軽に意見を言えるような学校を目指すためです。自分はこれまで一定の友達と多く話しており、ずっと話してきた友達以外の人と話すのは緊張します。しかし、誰もが気軽に意見を言えるようになれば、意見交換では会話が成立し素早く意見がまとめられるし、もっと学校生活が楽しくなると思ったからです。そんな学校を作るために、まずいつも笑顔でいたいです。笑顔でいると自然と親しみやすい雰囲気になると思います。他には、誰とでも話してみることです。誰とでも話すことで、自然と慣れていき気軽に話せるようになると思います。そんなことが叶えられるような企画をしたいです。

以上の3つが生徒会副会長に立候補した理由です。僕は自分の苦手なことを克服するとともに、学校の皆さんのことも支えていけるように努力をする所存です。みなさん、応援よろしくお願いします。